



所信声明
助産師および女性と子供に対する暴力
Midwives and Violence against Women and Children

背景

暴力にさらされることなく生きることは、根本的な人権である。女性に対する暴力について国連は、「性差に基づく暴力行為であって、女性に対して身体的、性的、若しくは心理的な危害又は苦痛となる行為、あるいはそうなる恐れのある行為であり、さらにそのような行為の脅威、強制もしくはいわれのない自由の剥奪をも含み、それらが公的生活で起こるか私的生活で起こるかを問わない」と定義しているⁱ。

女性に対する暴力は、国や文化にかかわらず世界中で発生している。女性より男性に特権を与える社会的・文化的規範や行動に端を発している。虐待は、親しいパートナーによる暴力、性的暴力、女性器切除、強制結婚、女性殺害など多様な形をとるⁱⁱ。暴力の形やその発生率は世界でさまざまであり、貧困、男女不平等、文化的慣行、紛争・災害、女性の法的地位などの要因に影響を受ける。

児童虐待は、18歳未満の子どもに対する虐待やネグレクトであるⁱⁱⁱ。子どものころに身体的あるいは性的虐待を受けた人は約20%に上る。児童虐待の影響は生涯にわたる可能性があり、身体的・精神的健康問題も含まれる。親を支援し積極的な育児技術を指導する分野横断的なアプローチと有効なプログラムによって、児童虐待が始まる前に防止することができる可能性がある^{iv}。

女性と子どもに対する暴力は、深刻な公衆衛生上の問題も引き起こす^v。暴力は健康に直接の影響（身体的、精神的、性的）を及ぼし、その影響は暴力がなくなった後も長く消えないことがある^{vi}。性的健康やリプロダクティブヘルスに対する影響は多様で、婦人科的外傷、心理的外傷、HIV、性感染症、尿路感染症などを含む。望まない妊娠は安全でない中絶につながる場合もある。身体的・性的暴力は、低出生体重児、流産、死産、母体死亡にもつながる^{vii viii ix x xi xii}。

見解

ICMは、女性と子どもが尊重され、その人権があらゆる社会において認識されるべきであることを信じる。虐待の予防を実施し、虐待を受けた人々に対するケアが各国・各地方の状況に応じて提供されなければならない。

ICM は基本的人権の問題として、女性と子どもに対する暴力の防止に向けて以下のように取り組んでいく。

- 女性と子どもに対する暴力の問題に積極的に対処するため、国際的な政府機関および非政府団体に対して働きかける。
- 女性と子どもに対する暴力の予防に向けて、教育キャンペーンや戦略を支援するよう会員協会に促す。

会員協会への指針

会員協会には、以下が求められる。

- 女性と子どもの健康を保護する専門職の代表として、虐待防止の積極的な推進のコミットメントを宣言すること
- 会員に対してだけでなく、一般市民に対しても反虐待の立場を明確に示すこと
- 虐待、特に女性と子どもの虐待防止のためのキャンペーンや対策を推進する団体との協力を拡大すること
- 虐待防止にかかわるネットワークや政府機関、非政府団体と協働すること
- 必要に応じて女性に専門的な助言ができるように、会員に対して暴力認識や予防対策、反虐待ネットワークに関する知識を深める機会を与えること
- 女性と子どもが自らの権利を認識する手助けができるよう、会員を支援すること
- 会員協会は個々の助産師に以下を推奨すべきである。
 - 身体的・言語的・非言語的な証拠をもとに虐待を認識し、適切に女性を支援すること
 - 女性が虐待を認識できるように支援し、必要に応じてより詳しいカウンセリングを受けられるよう虐待被害者支援団体につなげること
 - 女性と子どもが利用可能なフォローアッププログラムに参加できるように支援すること

関連 ICM 文書

ICM. 2011 所信声明 助産師、女性と人権

ICM. 2011 所信声明 女性器切除 (FGM)

その他の関連文書

Campbell JC. Health consequences of intimate partner violence. *Lancet*, 2002, 359(9314):1331–36.

Heise L, Garcia Moreno C. Violence by intimate partners. In: Krug EG et al., eds. *World report on violence and health*. Geneva, World Health Organization, 2002:87–121.

UN. 1948. Universal Declaration of Human Rights.

UN. 1979. Convention on the Elimination of All Forms of Discrimination against Women.

UN. 1999. Reproductive Health Rights. Kobe Declaration.

WHO. 2013. Factsheet No 239. Violence against Women.

<http://www.who.int/mediacentre/factsheets/fs239/en/>

Plichta SB. Intimate partner violence and physical health consequences: policy and practice implications. *Journal of Interpersonal Violence*, 2004, 19(11):1296–1323

UN 1993. Declaration on the Elimination of Violence against Women. www.un.org/documents/ga/res/48/a48r104.htm

UN General Assembly. 2006. In-depth study on all forms of violence against women. New York, United Nations, 2006. WHO.2014. Factsheet No 150. Child Maltreatment.

2008年、グラスゴーでの国際評議会にて採択*

2014年、プラハ国際評議会にて見直し・採択

次回の見直し予定：2020年

* 当初の文書名は「助産師および女性と子どもの虐待（Midwives and the Abuse of Women and Children）」

- i United Nations Declaration on the Elimination of Violence against Women, 85th plenary meeting, December 1993
- ii WHO Health consequences of violence against women
- iii WHO 2014 Factsheet 150 Child maltreatment
- iv WHO 2014 Factsheet 150 Child maltreatment
- v WHO Understanding and addressing violence against women
- vi WHO Health consequences of violence against women
- vii Dube SR et al. Long-term consequences of childhood sexual abuse by gender of victim. *American Journal of Preventive Medicine*, 2005, 28(5):430–38.
- viii Pallitto C. Domestic violence and maternal, infant, and reproductive health: a critical review of the literature. Paper submitted to the Pan-American Health Organization, Washington, DC, 2004.
- ix Valladares E et al. Physical partner abuse during pregnancy: a risk factor for low birth weight in Nicaragua. *Obstetrics & Gynecology*, 2002, 100(4):700–05.
- X Fauveau V et al. Causes of maternal mortality in rural Bangladesh, 1976–85. *Bulletin of the World Health Organization*, 1988, 66(5):643–51.
- Xixi Ganatra BR, Coyaji KJ, Rao VN. Too far, too little, too late: a community-based case-control study of maternal mortality in rural west Maharashtra, India. *Bulletin of the World Health Organization*, 1998, 76(6):591–98.
- xii Martin SL et al. Pregnancy-associated violent deaths: the role of intimate partner violence. *Trauma, Violence & Abuse*, 2007, 135–48

2016年 公益社団法人日本看護協会、公益社団法人日本助産師会、一般社団法人日本助産学会 訳

ICM発行文書の原文については、ICMが著作権を有します。

日本のICM加盟団体である日本看護協会・日本助産師会・日本助産学会は、ICMの許諾を得て日本語に翻訳しました。

日本語訳の著作権については、原文作成者であるICMと日本看護協会・日本助産師会・日本助産学会に帰属します。

原文の転載引用については、ICMに連絡し使用許諾を得てください。

日本語訳の転載引用については、日本助産師会 <http://www.midwife.or.jp/> に連絡し使用許諾を得てください。